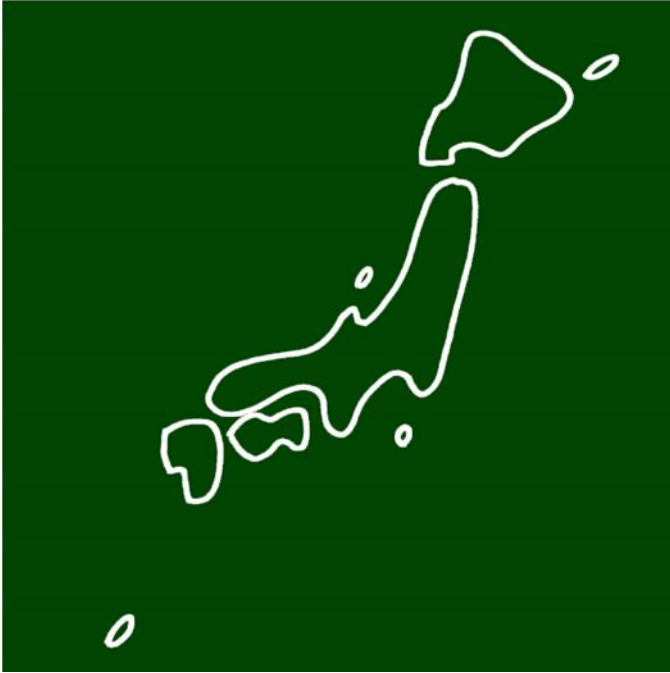


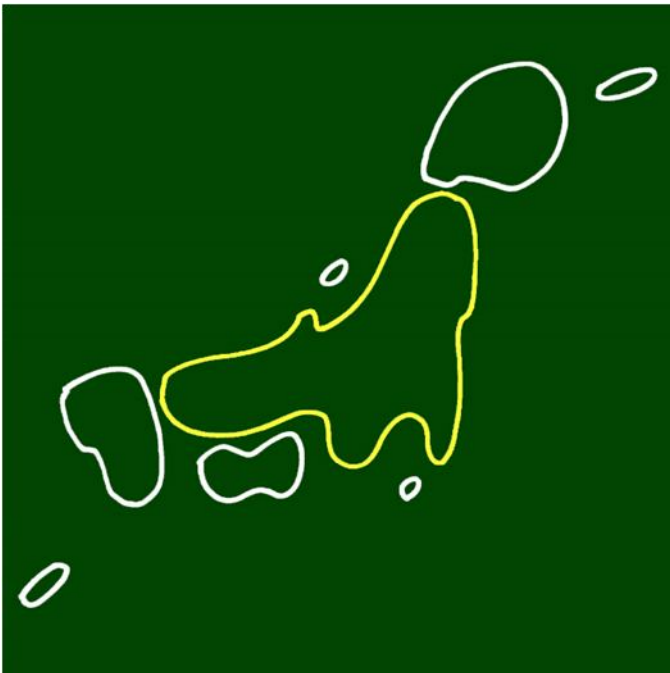
「黒板に日本列島略図を描くコツ (3)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

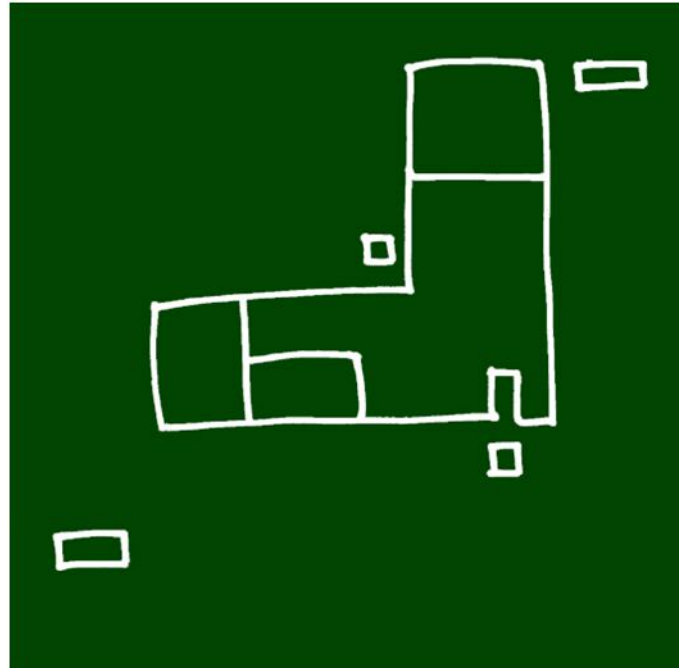
理科授業での「日本列島の略図」には、さまざまなバリエーションがある。子どもたちには、気に入ったものをノートや黒板に書くと良い、と教えている。



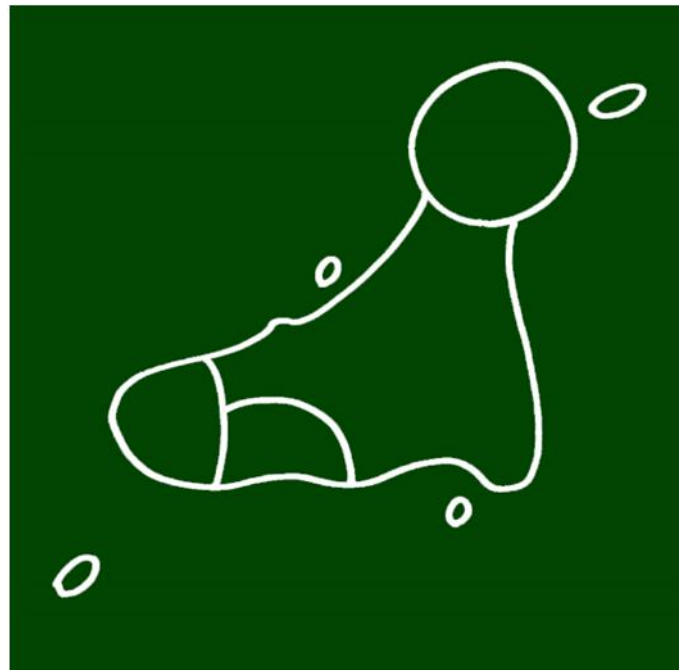
①これは非常に描きやすい。北海道の渡島半島、能登半島、房総半島、紀伊半島があると、「日本列島」らしくなり、大阪、名古屋、東京の位置をイメージしやすくなる。



②さらに崩した地図。本州を「さかだちしたムーミン」と心得て描くこと。子どもたちに人気。



③直角バージョン。東京湾だけはどうしても省略できない。しかし、これでも「天気の変化」の授業には結構使える。



④丸っこいバージョン。これを画用紙に描いて、「何に見えますか？」と同僚に聞いたら、「靴下」「アシカ」「牛の肉の部位図」などの反応。しかし6人中1人は、「日本地図？」と答えてくれたので、大丈夫だろう。いずれの略図にも、各海域を代表する、4つの小さな島を、必ず描くことが大切である。